

むらびと芸術館

肥後狂句(阿蘇御神火会)

たった今 思い出したつ又忘れ
 息子も息子 こね鉢までも詠えて
 まさか 飯食うてすぐ飯まだか
 冷ゆるねえ 避難所はさぞ辛かろう
 冷ゆるねえ 高岳も雪被つとる
 まさか 核のボタンも押しかねん
 緑の葉陰 省エネまでにや物足らん
 恐ろし恐ろし 判子一つが地獄道
 冷ゆるねえ 震えて入るしまい風呂
 夫婦の二本 水と油で五十年
 冷ゆるねえ 日差し恋しい季節です
 長さ長さ 仲人さんは話好き
 倉石 晴代

俳句(火の国俳句会)

紅く咲く山茶花紅きままに散り
 語ること残し逝く人寒椿
 人生の終盤斯くも枯木立
 煤逃げと言はれ句会に赴かん
 初霜や背伸ばしゆくお仏飯
 枕元寒の入日の眩しかり
 万両や父母亡き庭に朱をこぼし
 藤本 一心
 菊池 蘇水
 藤本じゅん子
 中島 敬吾
 古澤 咲子
 後藤 愛子
 松嶋よう子

兼題(雪)

新雪を競ふてをりぬ阿蘇五岳
 ドクターへり飛び立つ儀式雪の空
 初雪の肩に舞ひ散る散歩かな
 日は移り被災地は今雪深く
 踏みしめる音雪山の息づかひ
 雪の降る地を終活の地と決めり
 雪降りて狭庭光を集めをり
 藤本 一心
 後藤 愛子
 松嶋よう子
 古澤 咲子
 藤本じゅん子
 中島 敬吾
 菊池 蘇水

俳句

朝早くどこかでコールの音がする
 年重ねみんな童子になりけり
 何かしら心いそぐ師走です
 皆元氣今日も笑う又明日も
 広瀬 笑子
 ほどほどのもの引き当てて初みくじ
 凧に身構へるだけでも老いる
 渡邊ヨシ子

短歌

日曜日は湧水汲む人集まりて話のはずむ他県ナンバー
 終活とかるくは言うが我なりの愛着のある物捨てがたし
 松山みなみ
 ひさびさに洗濯物を外に出し薄き冬陽を手に抱ひをり
 渡邊ヨシ子

第65回熊日川柳大会ジュニア部門

村内小中学生の特選・秀句(学校・学年は投句当時)

◆お題「手」

特選

一人でねなやまないでよ手をかすよ
 久木野小学校5年 今村 心愛

秀句

丸ぼうずみんながさわるなんてかな
 両併小学校5年 工藤 綾真

人と人平和をいのり手をむすぶ
 中松小学校6年 西脇 静香

ぼくの手は何でも測れるものさしだ
 南阿蘇中学校1年 峯 悠斗

◆自由題

秀句
 いえのかきさるがうばいにやってくる
 久木野小学校2年 松本 一汰

暗記パン作れば多分ノーベル賞
 南阿蘇中学校3年 小原 雅

咳エチケット!

健康推進課 保健係より

インフルエンザをはじめとして、咳やくしゃみの飛沫により感染する感染症は数多くあります。これらの感染症を他人に感染させないことを、**咳エチケット**と言います。

その1 咳・くしゃみをする時は人がいる方向に向かず、1メートル以上離れてから。

その2 咳・くしゃみが出る時はすぐにマスクを付けましょう。

その3 マスクがない時は、ハンカチやティッシュを口にあてましょう。

その4 鼻水・痰がついたハンカチやティッシュはすぐにごみ箱へ!

